

PCT/JP01/02318
10/018510 12/2/02
12.04.01

日 本 国 特 許 庁

JAPAN PATENT OFFICE

JP01/2318

REC'D 08 JUN 2001

WIPO

PCT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日
Date of Application:

2000年 3月24日

出 願 番 号
Application Number:

特願2000-085164

出 願 人
Applicant(s):

菅谷 俊二

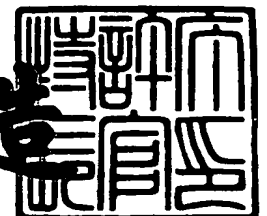
4

PRIORITY
DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

2001年 5月25日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3042918

【書類名】 特許願

【整理番号】 SUG00001

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 13/00 355
G06F 15/00 310
G06F 17/30

【発明者】

【住所又は居所】 佐賀県佐賀市本庄町袋 1 4 3 - 6

【氏名】 菅谷 俊二

【特許出願人】

【住所又は居所】 佐賀県佐賀市本庄町袋 1 4 3 - 6

【氏名又は名称】 菅谷 俊二

【代理人】

【識別番号】 100099634

【弁理士】

【氏名又は名称】 平井 安雄

【電話番号】 092-414-3157

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 030719

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 インターネットによる広告報知システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 インターネットを介してユーザが目標データの配信をデータサーバに要求した場合に、当該目標データがユーザ側へ配信される際又は当該配信される目標データがユーザの記憶手段にダウンロードされる際に広告サーバから提供される広告が前記ユーザ側へ配信され、当該配信された広告をユーザに報知することを

特徴とするインターネットによる広告報知システム。

【請求項 2】 前記請求項 1 に記載のインターネットによる広告報知システムにおいて、

前記広告サーバから提供される広告が複数存在し、前記ユーザが配信を要求する目標データの内容、種類又はユーザの個人識別データ若しくはユーザの指定に基づいて前記複数の広告のうちの 1 つ又は複数を選択してユーザに報知することを

特徴とするインターネットによる広告報知システム。

【請求項 3】 前記請求項 1 又は 2 に記載のインターネットによる広告報知システムにおいて、

前記ユーザが要求した目標データ及び／又は当該目標データが要求された際に報知した広告を当該ユーザの履歴情報として前記データサーバ又は広告サーバが記録することを

特徴とするインターネットによる広告報知システム。

【請求項 4】 前記請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載のインターネットによる広告報知システムにおいて、

前記ユーザへの広告の報知を完了したことを条件として前記ユーザの記憶手段にダウンロードされた目標データを読出すことができることを

特徴とするインターネットによる広告報知システム。

【請求項 5】 前記請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載のインターネットによる広告報知システムにおいて、

前記ユーザに報知される広告が 1 又は複数の設問からなる対話形式のステップから形成され、当該 1 又は複数の設問が完了したことを条件として前記ユーザの記憶手段にダウンロードされた目標データを読み出すことができることを

特徴とするインターネットによる広告報知システム。

【請求項 6】 前記請求項 1 ないし 5 のいずれかに記載のインターネットによる広告報知システムにおいて、

前記ユーザに対して広告を報知する際に当該広告に関連する商品又は役務の販売を実行することを

特徴とするインターネットによる広告報知システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、インターネットを利用するユーザに広告を行うインターネットによる広告報知システムに関し、特にユーザが目標データの配信を要求する際に広告を行うインターネットによる広告報知システムに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、この種のインターネットによる広告報知システムは、バナー広告、電子メール広告、記事広告等のインターネット上の広告方法が存在する。

前記バナー広告を用いた従来のインターネットによる広告報知システムは、図 5 に示すようにウェブページの一部を広告専用のスペースとして予め確保し、このスペースに画像を掲載して行う構成である。このウェブページが、例えばインターネットのサーチエンジン等として機能するページである場合には、前記スペースに画像ファイルの一部が表示され、この表示をクリックすると関連データのインターネットにネットワーク接続され、この広告に関連する内容をインターネットを介して読み出すことができることとなる。

【0003】

このインターネットのページ上に広告を行う従来のインターネットによる広告報知システムとしては特願平 1 0 - 1 0 2 3 2 9 号公報に開示されるものがあり

、この従来のインターネットによる広告報知システムは、リクエストされたページをロードする間に見るようにパソコンの前にいるユーザに対して広告等を提供する。この広告等は、いかなる形態であってもよいが、1つの形態としては、アニメ式広告がある。アニメ式広告の場合は、広告自体を表示するのにかかる時間よりもはるかに短時間でダウンロードされ得る。こうして広告がダウンロードし終えた時点と放映し終わる時点の間にはネットワークが広告等の配信に使用されていないことから、このネットワークをリクエスト対象のページをダウンロードするのに使用することができることとなる。当然のことながらネットワークがリクエスト対象のページのソースに比べてはるかに高速である場合、このような遅延はさほど問題とならない。

【0004】

また、インターネットを用いないパソコン上で広告を行う従来の広告方法を図6に基づいて説明する。同図において単一のパソコンでの広告方法は、ユーザがキーボード510を操作してCPU520の制御演算部521に所定の演算動作を実行させようとする場合に、この演算動作を実行するプログラムのソフトウェアを外部メモリ530から読出してCPU520の内部メモリ522にダウンロードし、このダウンロードの際に前記ソフトウェアと一体に格納されている広告が表示部540に表示されることにより行われる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

従来のインターネットによる広告報知システムは以上のように構成されていたことから、インターネットを介して目標データをユーザ側のパソコンにダウンロードする際に広告をパソコンの表示部に表示するものが存在せず、目標データのダウンロード時間を有効に活用できなかった。インターネットにネットワーク接続されたユーザを対象として広告を行う場合に、このユーザが本来求めているデータ又は商品（サービスも含む）に関する広告を提供することができないという課題を有する。特に、前記従来の各インターネットによる広告報知システムは、予め定められた広告内容を画一的に行っていたことから、ユーザがインターネットを介してデータの配信を要求する時点における各ユーザにアピールできる最適

な広告を選択して実行できなかった。

【0006】

本発明は、前記課題を解消するためになされたもので、インターネットを介して配信される目標データのダウンロード時間を活用してユーザに特にアピールする広告を表示することができるインターネットによる広告報知システムを提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】

本発明に係るインターネットによる広告報知システムは、インターネットを介してユーザが目標データの配信をデータサーバに要求した場合に、当該目標データがユーザ側へ配信される際又は当該配信される目標データがユーザの記憶手段にダウンロードされる際に広告サーバから提供される広告が前記ユーザ側へ配信され、当該配信された広告をユーザに報知するものである。このように本発明においては、ユーザからの目標データの配信要求によりデータサーバが目標データをダウンロードする際に、広告サーバから広告がユーザの機器へ配信されてこの機器から広告がユーザに報知されることから、目標データのダウンロード時間を活用して広告を直接ユーザに報知できることとなる。

【0008】

本発明に係るインターネットによる広告報知システムは必要に応じて、広告サーバから提供される広告が複数存在し、前記ユーザが配信を要求する目標データの内容、種類又はユーザの個人識別データ若しくはユーザの指定に基づいて前記複数の広告のうちの1つ又は複数を選択してユーザに報知するものである。このように本発明においては、広告サーバが複数の広告を用意し、この複数の広告中からユーザにアピールできる最適な広告を選択して報知するようにしているので、ダウンロード時間を活用してより注目度の高い効果的な広告が可能となる。

【0009】

本発明に係るインターネットによる広告報知システムは必要に応じて、ユーザが要求した目標データ及び／又は当該目標データが要求された際に報知した広告を当該ユーザの履歴情報として前記データサーバ又は広告サーバが記録するもの

である。このように本発明においては、ユーザの過去に要求した目標データ、過去の報知された広告を、このユーザの履歴情報として記憶するようにしているので、新たにユーザが目標データの配信を要求した場合に、履歴情報に基づいてより適切な広告を選択して報知できることとなり、広告効果をより向上させることができる。

【 0 0 1 0 】

本発明に係るインターネットによる広告報知システムは必要に応じて、ユーザへの広告の報知を完了したことを条件として前記ユーザの記憶手段にダウンロードされた目標データを読み出すことができるものである。このように本発明においては、ユーザによる目標データの読み出しを、ユーザへの広告の報知が完了したことを条件としていることから、ユーザの広告視聴率を向上させることができることとなり、広告効果を向上させることができる。

【 0 0 1 1 】

本発明に係るインターネットによる広告報知システムは必要に応じて、ユーザに報知される広告が 1 又は複数の設問からなる対話形式のステップから形成され、当該 1 又は複数の設問が完了したことを条件として前記ユーザの記憶手段にダウンロードされた目標データを読み出すことができるものである。このように本発明においては、目標データの配信要求の際に報知される広告が対話形式の複数ステップからなる設問で構成され、この設問の対話完了を条件として目標データの読み出しを行うようにしているので、ユーザに広告内容をより明確に認識させることができることとなり、広告効果を高めると共に、広告の商品・サービス等の知識を向上させることができる。

【 0 0 1 2 】

この設問形式の広告は、オープン懸賞付きのクイズ形式等とすることにより、インターネットを介してこのクイズの答えを直接応募させることができる。

本発明に係るインターネットによる広告報知システムは必要に応じて、ユーザに対して広告を報知する際に当該広告に関連する商品又は役務の販売を実行するものである。このように本発明においては、ユーザに広告を報知する際に関連する商品・役務等の販売を実行するようにしたので、広告効果の向上と共に販売促

進を図ることができる。

【0013】

【発明の実施の形態】

(本発明の第1の実施形態)

以下、本発明の第1の実施形態に係るインターネットによる広告報知システムをその方法と共に図1及び図2に基づいて説明する。この図1は本実施形態に係るインターネットによる広告報知システムの全体概略構成図、図2は図1に記載されるインターネットによる広告報知システムの動作フローチャートを示す。

【0014】

前記各図において従来のインターネットによる広告報知システムは、インターネット1にネットワーク接続される複数のユーザ側端末機器101ないし10nと、前記インターネット1にネットワーク接続され、前記複数のユーザ側端末機器101ないし10nに広告を配信する広告サーバ側機器20と、前記インターネット1にネットワーク接続され、前記複数のユーザ側端末機器101ないし10nの配信要求に応じてユーザが要求するソフトウェア、各種データ等（以下、目標データ）を配信するデータサーバ側機器30とを備える構成である。

【0015】

前記広告サーバ側機器20は、前記複数のユーザ側端末機器101ないし10nから目標データの配信要求があった場合に広告表示動作に関連する各種処理を実行する広告側CPU21と、広告主からの要求により各種の広告内容を広告ファイルとして格納し、前記ユーザの予め登録された個人情報に配信要求毎に新たな個人情報を追加して個人履歴情報とし、この個人履歴情報を履歴情報ファイルとして格納すると共に、広告表示動作に関連する各種処理を制御するCMソフトウェア及びこのCMソフトウェアにより実行される広告のCMファイルを格納する記憶部22とを備える構成である。前記個人情報は、氏名、年齢、性別、住所、職業、家族構成等を任意に組合わせてなる個人の属性を示す個人属性情報、過去の購買履歴情報、広告の閲覧履歴情報、広告の設問内容情報、設問に対する回答履歴情報等がある。この個人属性情報以外の情報については複数のユーザ側端末機器101ないし10nからユーザが目標データの配信要求がなされる毎に、

新たな各情報が書込まれた履歴情報としての広告データベースとなる。

【0016】

次に、前記構成に基づくインターネットによる広告報知システムの広告表示動作について説明する。まず、ユーザM1がユーザ側端末機器101をインターネット1に接続し、このユーザ側端末機器101を操作してブラウザに基づくCPU101aの制御により、目標データベースが表現されているホームページをデータサーバ側機器30に要求する（ステップ11）。この要求によりデータサーバ側機器30はホームページを配信してユーザ側端末機器101の記憶部101cにダウンロードする（ステップ12）。

【0017】

この記憶部101cに格納されたホームページを表示部101dに表示し、この表示されたホームページ中に表現されている目標データのリンクをクリックする（ステップ13）。この目標データのリンクは広告サーバ側機器20のリンクとして機能する。

この広告サーバ側機器20へのリンクにより、この広告サーバ側機器20はCMソフトウェアの起動が記述されているホームページを配信し、このCMソフトウェアをユーザ側端末機器101にダウンロードする（ステップ14）。このユーザ側端末機器101は、ダウンロードされたCMソフトウェアに基づいて広告内容が記載されるCMコンテンツとしてのCMファイルを記憶部101cにダウンロードし、このCMファイルを表示部101dに表示させると共に、このCMソフトウェアにより目標データをデータサーバ側機器30から記憶部101cにダウンロードする（ステップ15）。

【0018】

前記表示部101dでのCMファイルの表示が完了したか否かを判断し（ステップ16）、表示が完了したと判断された場合には、記憶部101cにダウンロードされた目標データを読み出してCPU101aが実行または表示部101dに表示させることとなる（ステップ17）。

【0019】

（本発明の第2の実施形態）

本発明はの第2の実施形態に係るインターネットによる広告報知システムをその方法と共に図3に基づいて図1を参照しながら説明する。この第2の実施形態に係るインターネットによる広告報知システムは、前記第1の実施形態に係るインターネットによる広告報知システムと同様なハードウェアの構成であり、広告表示に関連する動作を制御するホームページの内容及びCMソフトウェアの制御手順を異にする構成である。

【0020】

まず、第1の実施形態ソフトウェアと同様に、目標データが表現されているホームページをユーザ側端末機器101からデータサーバ側機器30へ要求し（ステップ21）、このデータサーバ側機器30からユーザ側端末機器101の記憶部101cへダウンロードされる（ステップ22）。

このダウンロードされたホームページのうち目標データが表現されているホームページのリンクをクリックし（ステップ23）、データサーバ側機器30からCMソフトウェアの起動が記述されているホームページをダウンロードする（ステップ24）。このダウンロードされたホームページの配信要求により広告サーバ側機器20よりCMソフトウェアをダウンロードする（ステップ25）。

【0021】

このユーザ側端末機器101は、ダウンロードされたCMソフトウェアに基づいて広告内容が記載されるCMコンテンツとしてのCMファイルを記憶部101cにダウンロードし、このCMファイルを表示部101dに表示させると共に、このCMソフトウェアにより目標データをデータサーバ側機器30から記憶部101cにダウンロードする（ステップ26）。

【0022】

前記表示部101dでのCMファイルによる広告の表示が完了したか否かを判断し（ステップ27）、表示が完了したと判断された場合には、記憶部101cにダウンロードされた目標データを読み出してCPU101aが実行又は表示部101dに表示させることとなる（ステップ28）。

【0023】

（本発明の第3の実施形態）

本発明はの第 3 の実施形態に係るインターネットによる広告報知システムをその方法と共に図 4 に基づいて図 1 を参照しながら説明する。この第 3 の実施形態に係るインターネットによる広告報知システムは、前記第 1 の実施形態に係るインターネットによる広告報知システムと同様なハードウェアの構成であり、広告表示に関連する動作を制御するホームページの内容及び CM ソフトウェアの制御手順を異にする構成である。

【 0 0 2 4 】

まず、前記第 1 の実施形態システムと同様にインターネット 1 にネットワーク接続されるユーザ側端末機器 1 0 1 からデータサーバ側機器 3 0 に対して目標データが表現されているホームページを要求し、このホームページをユーザ側端末機器 1 0 1 の記憶部 1 0 1 c にダウンロードする（ステップ 3 1）。このダウンロードされたホームページを表示部 1 0 1 d に表示して目標データへのリンクをクリックし、広告サーバ側機器 2 0 に対して目標データをダウンロードすることを要求する（ステップ 3 2）。

【 0 0 2 5 】

この広告サーバ側機器 2 0 は、ユーザ側端末機器 1 0 1 に予め登録されて保存された前記個人属性情報（World Wide Web: WWW における Cookie に相当）又は新たに入力された個人属性情報が存在するか否かを判断する（ステップ 3 3）。この個人属性情報が存在しないと判断された場合には、広告サーバ側機器 2 0 はユーザ側端末機器 1 0 1 へ個人属性情報を登録するためのホームページを配信する（ステップ 3 4）。このホームページにユーザが氏名、年齢、性別、住所、職業、家族構成等の個人属性情報を記入して登録すると、この登録された個人属性情報が広告サーバ側機器 2 0 の記憶部 2 2 に個人履歴情報として格納される（ステップ 3 5）。なお、この個人属性情報の登録が実行されると、この登録された個人属性情報が広告サーバ側機器 2 0 から複数のユーザ側端末機器 1 0 1 ないし 1 0 n のいずれかへ配信されてユーザ側端末機器 1 0 1 ないし 1 0 n の対応する記憶部 1 0 1 c ないし 1 0 n c に保存される。

【 0 0 2 6 】

このように新たに個人属性情報が登録され、また個人属性情報が存在すると判

断された場合には、この個人属性情報を検索キーとして広告サーバ側機器 2 0 の記憶部 2 2 に格納される履歴情報ファイルから、このユーザに関連する過去の購買履歴情報、広告の閲覧履歴情報、広告の設問内容情報、設問に対する回答履歴情報等の各種履歴情報が広告サーバ側機器 2 0 により抽出される（ステップ 3 6）。

【 0 0 2 7 】

この抽出された各種履歴情報に基づいて広告サーバ側機器 2 0 がこのユーザに提示して表示すべき広告の CM ファイルを記憶部 2 2 に格納された複数の CM ファイルから選択して決定する（ステップ 3 7）。また、この広告サーバ側機器 2 0 は、CM ファイル名及びこの CM ソフトウェアを起動させる指示が記述されたホームページとをユーザ側端末機器 1 0 1 へ配信してダウンロードする（ステップ 3 8）。さらに、広告サーバ側機器 2 0 から CM ソフトウェア及び CM ファイルをユーザ側端末機器 1 0 1 に配信してダウンロードする（ステップ 3 9）。

【 0 0 2 8 】

このユーザ側端末機器 1 0 1 は、配信されたホームページの起動指示によりダウンロードされた CM ソフトウェアの制御により CM ファイルを再生して表示部 1 0 1 d に表示させ、またデータサーバ側機器 3 0 から目標データが配信されてダウンロードされる（ステップ 4 0）。この CM ソフトウェアの再生表示で設問形式のユーザの応答又はユーザの操作態様を記録する（ステップ 4 1）。

【 0 0 2 9 】

前記ステップ 4 0 におけるユーザの操作が CM ソフトウェアの再生表示中に中断の処理が発生したか否かを判断する（ステップ 4 2）。この中断処理が発生していないと判断された場合には、CM ソフトウェアで表示された商品又はサービスに対してユーザが購買要求が発生したか否かを判断し（ステップ 4 3）、購買要求が発生したと判断された場合には、この購買要求を広告サーバ側機器 2 0 に送信する（ステップ 4 4）。この送信された購買要求に基づいて広告サーバ側機器 2 0 は、登録し、購買に関する各種処理を実行する（ステップ 4 5）。

【 0 0 3 0 】

このようにユーザの個人属性情報が予め登録された状態で広告表示中における

購買動作を実行させることにより、ユーザは購買のために別途個人属性情報を入力する必要がなくなり簡易且つ確実な購買動作を実行できる。また、広告サーバ又は広告主側からは広告と同時に購買まで実行できるのでCM効果を直接判断できると共に販売促進が可能となる。

【 0 0 3 1 】

また、この購買において、目標データがCAD、CAM等のソフトウェアであった場合にこのソフトウェアで駆動するプリンタ等の機器の広告となり、このプリンタ等の機器が販売対象となる。また、目標データが音楽ソフトであった場合には、この音楽の歌手又は演奏者等のアーティストの講演が広告となり、この講演チケットが購買の対象となる。

【 0 0 3 2 】

この購買に関する各種処理が実行された後又はステップ42で購買要求が発生していないと判断された場合には、CMソフトウェアによるCMファイルの再生表示を引継ぎて実行し、この表示動作が終了するとダウンロード終了を確認してCMソフトウェアの実行を終了する（ステップ46）。

前記ステップ42においてCMソフトウェアのによるCMファイル再生を表示中に中断の処理操作がなされたと判断された場合には、CMソフトウェアの制御動作に基づいてCPU101aが前記ダウンロードされた目標データ（又はダウンロード途中の目標データ）に対して予め設定された消去等の処理を実行する（ステップ47）。

【 0 0 3 3 】

前記ステップ46によるCMソフトウェアの終了又は前記ステップ47による目標データの処理した後は、これまでのユーザが操作し、実行した内容を広告サーバ側機器20に送信し、この広告サーバ側機器20により履歴ファイルとして記憶部22に格納される。

（本発明の第3の実施形態）

なお、前記各実施形態に係るインターネットによる広告報知システムにおいては、広告の報知を表示部に表示する構成としたが、前記広告の報知を音声又はプリントアウトにより行うこともできる。

【0034】

また、前記各実施形態に係るインターネットによる広告報知システムにおいては、インターネットに複数のユーザ側端末機器101ないし10nがネットワーク接続されている場合について説明したが、インターネットから複数のユーザ側端末機器101ないし10nのネットワーク接続が解除された後に目標データを実行することもできる。この場合には目標データを実行又は再実行する際にCMファイルと一体で再生されて再生の都度にユーザに対して広告動作を実行することができる。

【0035】

特に、CMソフトウェア（又はCMソフト）が複数のユーザ側端末機器101ないし10nにダウンロードされる際に複数のCMファイルが配信され、目標データを再実行する毎に複数のCMファイルを順次変更して再生させることもできる。また、この複数のCMファイルが総て再生された場合に、目標データの再実行を不能とすることもでき、また複数のCMファイルをサイクリック（又はランダム）に再び再生することもできる。この再実行不能となる場合には、最初から再度目標データの配信要求をユーザ側から実行することとなる。このことはインターネットに複数のユーザ側端末機器101ないし10nがネットワーク接続されている場合についても同様である。

【0036】

また、前記各実施形態に係るインターネットによる広告報知システムにおいては、履歴情報に基づいてCMファイルの選択を行う構成としたが、この履歴情報に基づいて将来の消費傾向を予測し、この予測したデータを広告主に提示し、販売促進の基礎データとすることもできる。

【0037】

【発明の効果】

本発明においては、ユーザからの目標データの配信要求によりデータサーバが目標データをダウンロードする際に、広告サーバから広告がユーザの機器へ配信されてこの機器から広告がユーザに報知されることから、目標データのダウンロード時間を活用して広告を直接ユーザに報知できるという効果を奏する。

【 0 0 3 8 】

また、本発明においては、広告サーバが複数の広告を用意し、この複数の広告の中からユーザにアピールできる最適な広告を選択して報知するようにしているので、ダウンロード時間を活用してより注目度の高い効果的な広告が可能となるという効果を有する。

また、本発明においては、ユーザの過去に要求した目標データ、過去の報知された広告を、このユーザの履歴情報として記憶するようにしているので、新たにユーザが目標データの配信を要求した場合に、履歴情報に基づいてより適切な広告を選択して報知できることとなり、広告効果をより向上させることができるという効果を有する。

【 0 0 3 9 】

また、本発明においては、ユーザによる目標データの読出しを、ユーザへの広告の報知が完了したことを条件としていることから、ユーザの広告視聴率を向上させることができることとなり、広告効果を向上させることができるという効果を有する。

また、本発明においては、目標データの配信要求の際に報知される広告が対話形式の複数ステップからなる設問で構成され、この設問の対話完了を条件として目標データの読出しを行うようにしているので、ユーザに広告内容をより明確に認識させることができることとなり、広告効果を高めると共に、広告の商品・サービス等の知識を向上させることができるという効果を有する。

【 0 0 4 0 】

この設問形式の広告は、オープン懸賞付きのクイズ形式等とすることにより、インターネットを介してこのクイズの答えを直接応募させることができる。

また、本発明においては、ユーザに広告を報知する際に関連する商品・役務等の販売を実行するようにしたので、広告効果の向上と共に販売促進を図ることができるという効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の第 1 の実施形態に係るインターネットによる広告報知システムの全体

概略構成図である。

【図 2】

図 1 に記載されるインターネットによる広告報知システムの動作フローチャートである。

【図 3】

本発明の第 2 の実施形態に係るインターネットによる広告報知システムの全体概略構成図である。

【図 4】

本発明の第 3 の実施形態に係るインターネットによる広告報知システムの全体概略構成図である。

【図 5】

バナー広告を用いた従来のインターネットによる広告報知システムの表示図である。

【図 6】

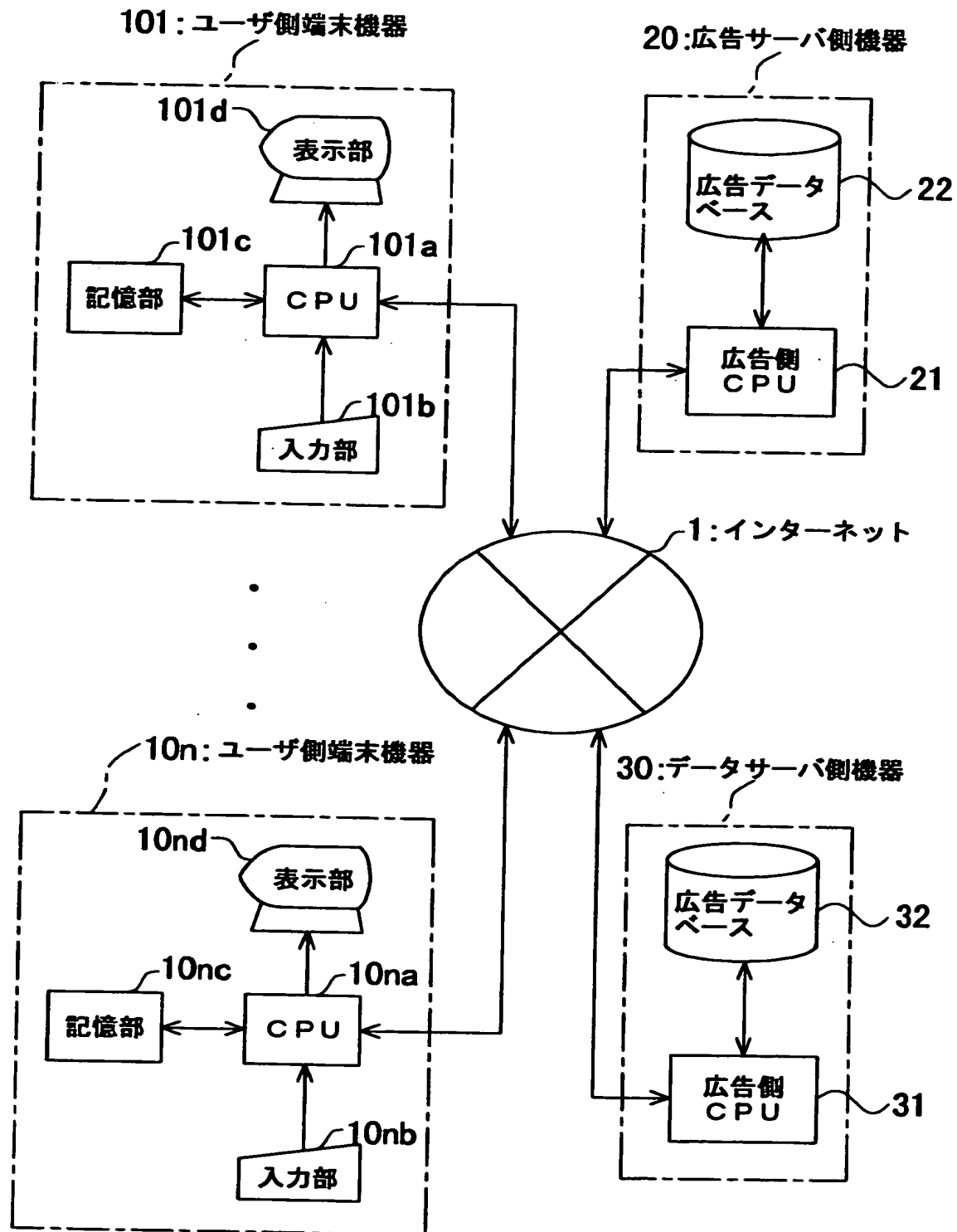
インターネットを用いないパソコン上で広告を行う従来の広告実行ブロック図である。

【符号の説明】

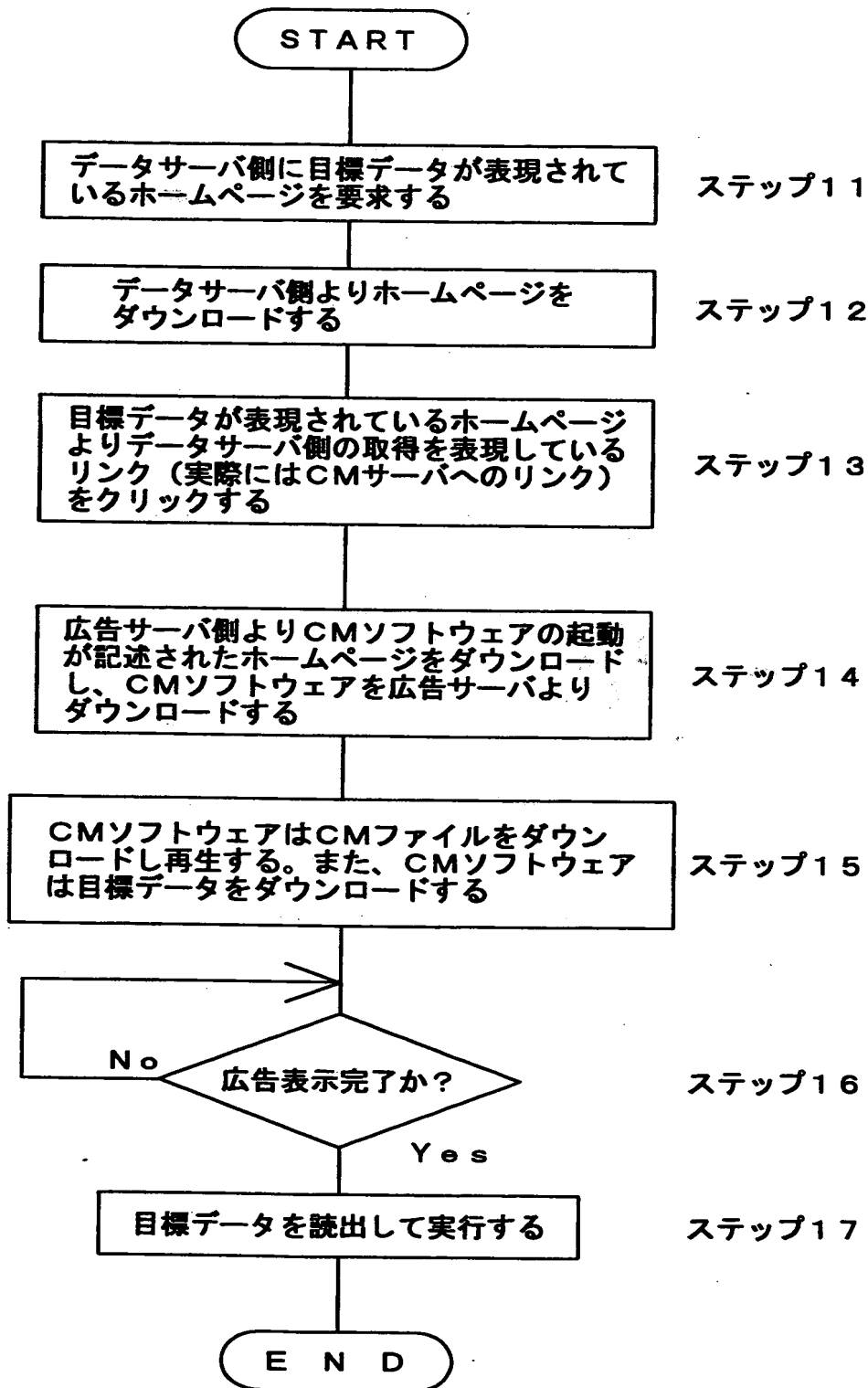
- 1 インターネット
- 20 広告サーバ側機器
- 22 記憶部
- 30 データサーバ側機器
- 101 ないし n ユーザ側端末機器
- 101 a、520 CPU
- 101 c 記憶部
- 101 d、540 表示部
- 510 キーボード
- 521 制御演算部
- 522 内部メモリ

【書類名】 図面

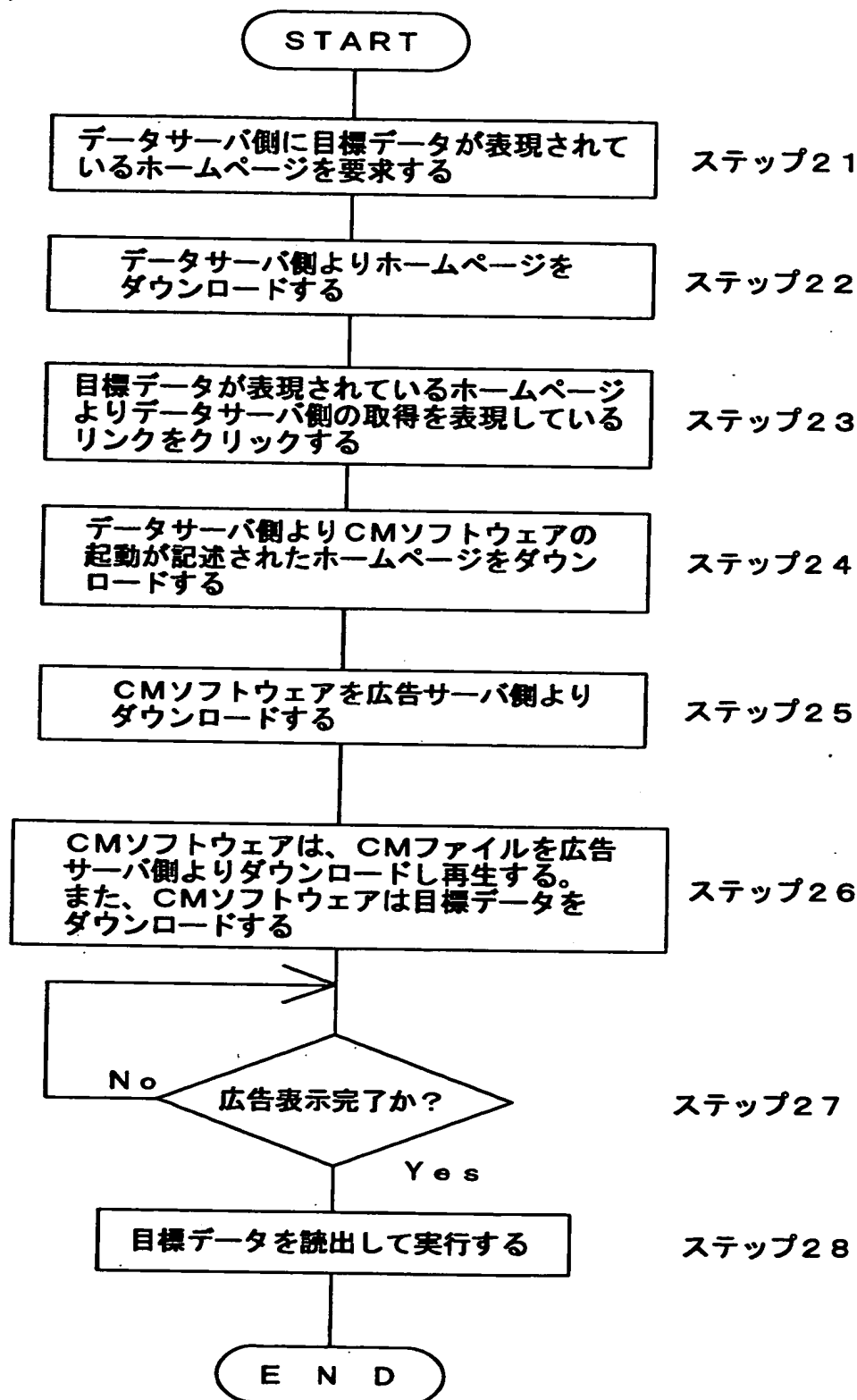
【図1】



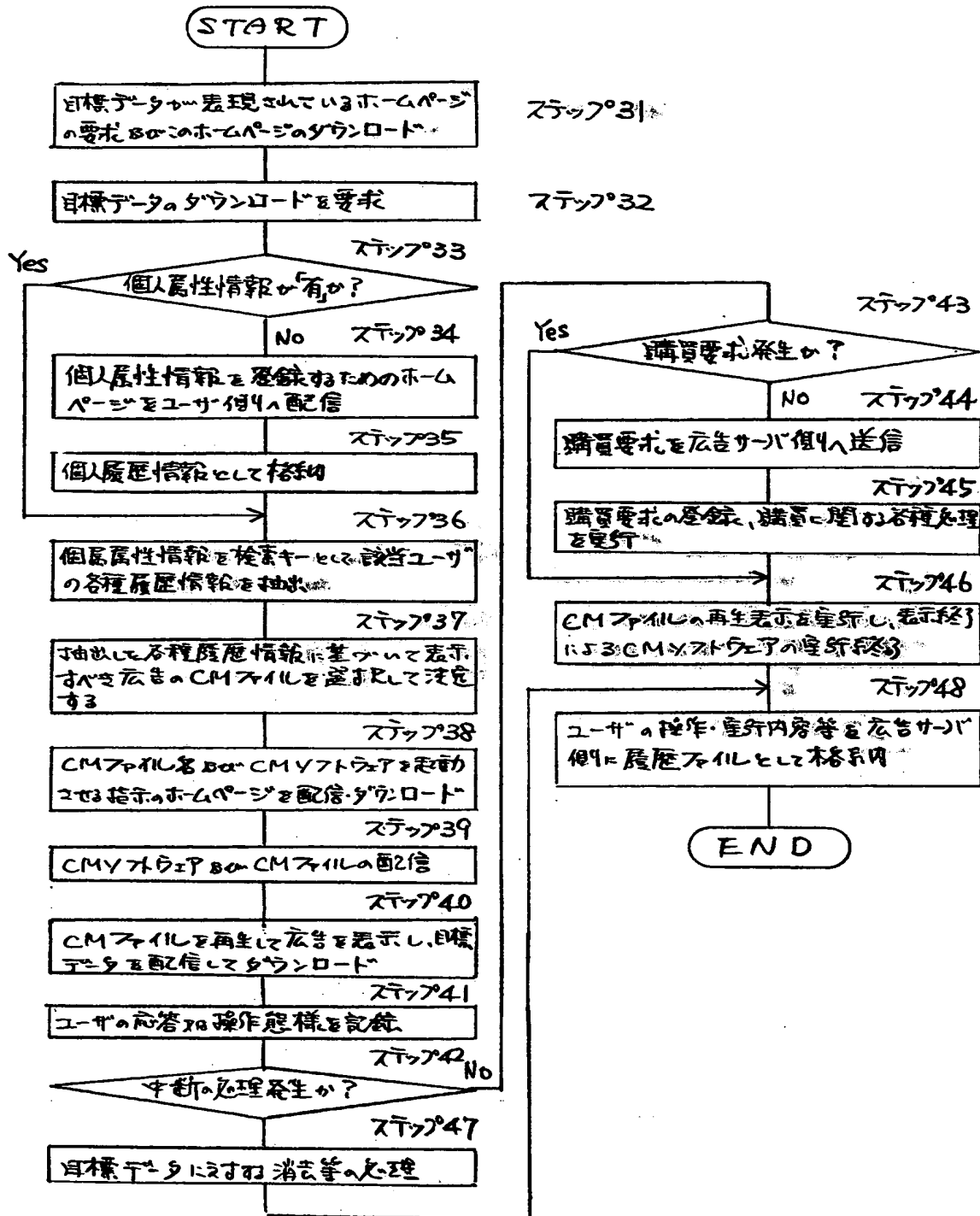
【図 2】



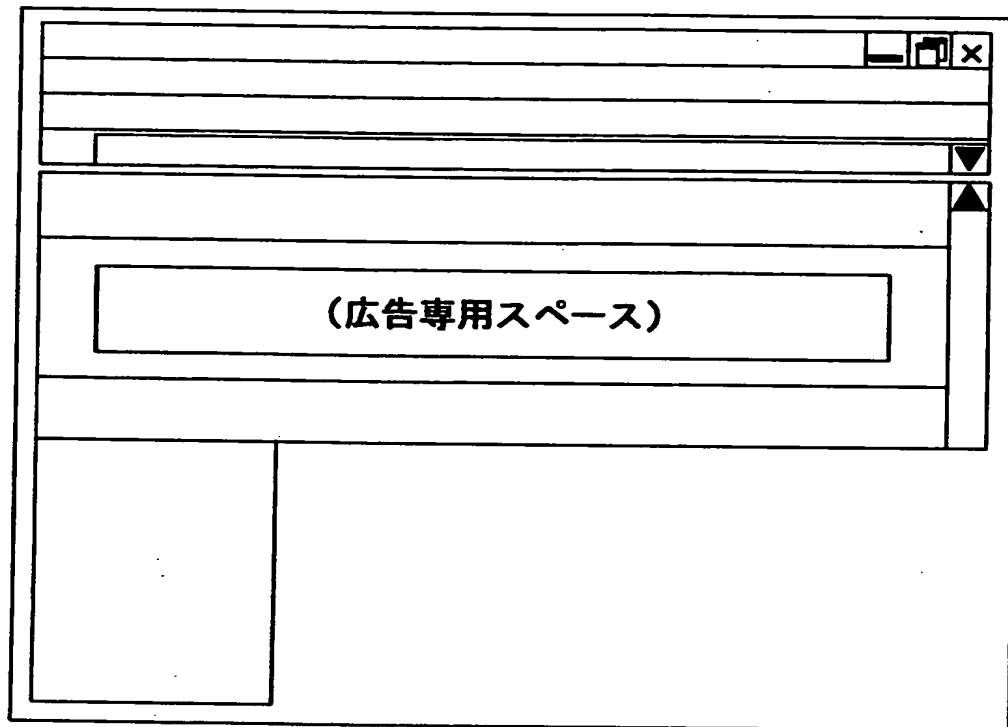
【図3】



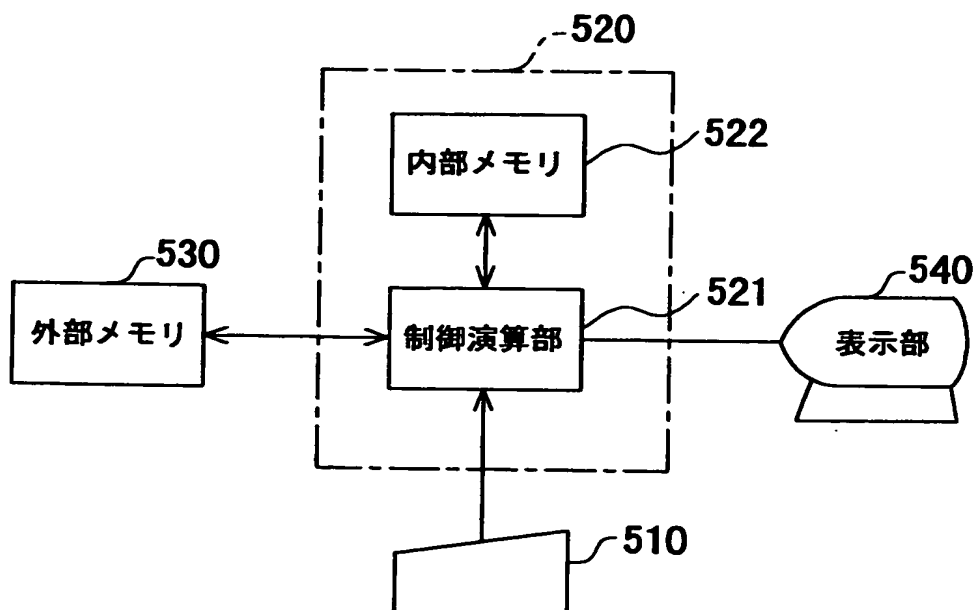
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 インターネットを介して配信される目標データのダウンロード時間を活用してユーザに特にアピールする広告を表示することができるインターネットによる広告報知システムを提供する。

【解決手段】 ユーザからの目標データの配信要求によりデータサーバ側機器30が目標データをダウンロードする際に、広告サーバ側機器20から広告がユーザ側端末機器101へ配信されて、このユーザ側端末機器101から広告がユーザに報知されることから、目標データのダウンロード時間を活用して広告を直接ユーザに報知できる。また、広告サーバ側機器20が複数の広告を用意し、この複数の広告中からユーザにアピールできる最適な広告を選択して報知するようにしているので、ダウンロード時間を活用してより注目度の高い効果的な広告が可能となる。

【選択図】 図1

特2000-085164

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2000-085164
受付番号	50000368015
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0096
作成日	平成12年 3月29日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成12年 3月24日
-------	-------------

次頁無

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[500132694]

1. 変更年月日 2000年 3月24日

[変更理由] 新規登録

住 所 佐賀県佐賀市本庄町袋143-6
氏 名 菅谷 俊二